



二葉幼稚園

園のたより

2021年



年間主題 **ともに喜んで ~すべての歩みの中~**



4月の聖句

わたしは よいひつじかいである

ヨハネによる福音書10章14節

4月のさんびか

ちいさい おてて

ようじさんびか5



ひとりひとりの名を呼んで

ご家族の皆さま、お子さまのご入園、ご進級おめでとうございます。

春の花々が例年より早く咲きはじめ、コロナ疲れの人々の心を癒やし、和ませています。皆さまをお迎えする頃、園庭は青葉若葉が繁り始め、ハナミズキが「おめでとう」とご挨拶することでしょう。

先日、とある庭にて予期せぬ貸し切り状態で、2本の見事な桜を愛でる機会に恵まれました。

1本は大人が4人でやっと抱えられるほどの幹。樹齢何年？どんな歴史を見守ってきたのだろう。天高くそびえ、薄桃の花々をまとい悠々とした姿は溜息が出る程の美しさでした。3m程離れた所に凍としたもう1本の桜。こちらを手を回すには大人2人が必要なほど。でも大樹の傍ではまだまだ若木に見えるのです。2本が奏でる美しさに四方八方から眺めては、時折強い風に舞う桜吹雪に身を委ね至福の時を過ごしました。横から見ると各々が大地にしっかりと根を張り、天空に向かい、精一杯生きているのがわかります。角度を変え、大木側から縦に観ると、若木の幹はすっぽりと隠れ、2本がまるで1本の桜のように見えるのです。自然はいつも大切な気づきを与えてくれます。

さて、希望に満ちた新年度には若干不似合？な告白。実は私・・・よく自己嫌悪に陥ります。皆さまはそんな時どうされますか？私は祈ったり、散歩したり、聖書や本をぱらぱらと捲る等、自然や信仰、言霊からエネルギーを頂きます。ひろはまかずとしさんの墨彩詩画集(河出書房)もその一つ。

「ほら 少し休んで振り返ってごらん ほんとうに よくここまで歩いてきたね」～おもいのまんまより～

命を授かり、何もかも初めてで、まだ見ぬ子の健康を案じながら胎動とコミュニケーションを取った日々。それぞれが特別な誕生の瞬間。ひとりひとりの名が決まり、尊い人生が始まってやっと入園入学、進級の時。特に昨年からは想像を絶する感染症との共存の日々。緊張や不安の中で

「ほんとうに よくここまで 歩いてきたね・・・」

ご家族と一緒に時は、まるで2本の桜が1本に見えたような〇〇さんちの◇くん、△ちゃんだったかもしれません。ふたばっこになった子ども達は、今迄のご家族の愛情をいっぱい小さな魂に蓄えて、〇〇◇くん、〇〇△ちゃん、そう一人の人として自分の足で大地を踏みしめ、生きるのです。

たくましいです。頼もしいです。疲れた時は安心して思いっきり甘えられるご家族がいるからこそ。

「毎日一度は 自分自身をおもいっきりほめてあげて下さい」～おもいのまんまより～

子ども達の伸びゆく力、育ち合う力を信じて、時に充電の時間もたっぷり取りながら、慌てず、焦らず子ども達のきらめく瞬間を伝え合い、「ともに喜んで」子ども達に愛情を注いでいきたいですね！

私達ひとりひとりの名を呼んで下さる神さまの深い愛を感じながら、2021年度もご家族皆さまとふたばっコライフを慈しみ、大いに楽しんで参りましょう！ 希望をもって！！【園長】